

2021年2月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2020年11、12月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる
長野県内景気	厳しい状況が続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる
11月の生産動向	生産は持ち直している
12月の個人消費	乗用車新車販売は3カ月連続で前年を上回る
12月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年水準を上回る
12月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を下回る
12月の雇用情勢	有効求人倍率は4カ月連続で前月を上回る

今後は、新型コロナによる所得・雇用環境への影響を注視する必要がある

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

担当 桑井、中村(亮)

電話 026-224-0501

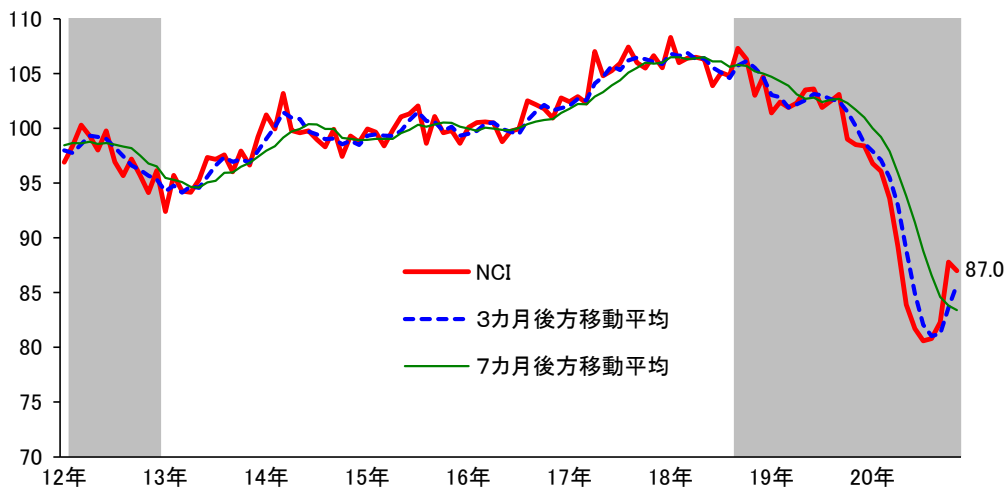


景気動向指数

- 11月のNCI(一致指数)は、87.0と前月と比較し△0.8ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+2.1ポイントと3カ月連続で上昇した一方、7カ月後方移動平均は同△0.4ポイントと14カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、下げ止まりを示している。
- NDI(一致指数)は100.0%となり、2カ月連続で景気判断の分かれ目となる50.0%を上回った。

(2015年=100)

NCI(一致指数)の推移



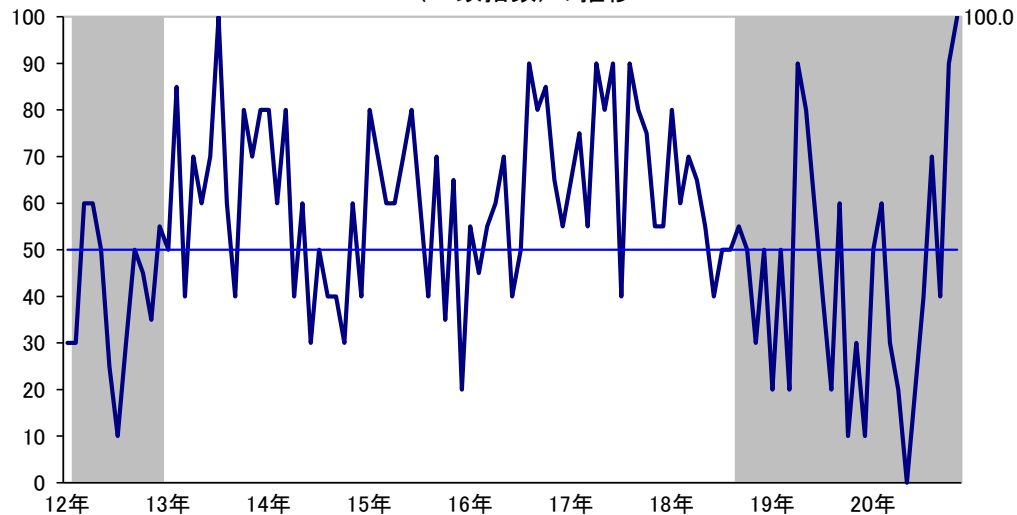
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す

注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

(%)

NDI(一致指数)の推移



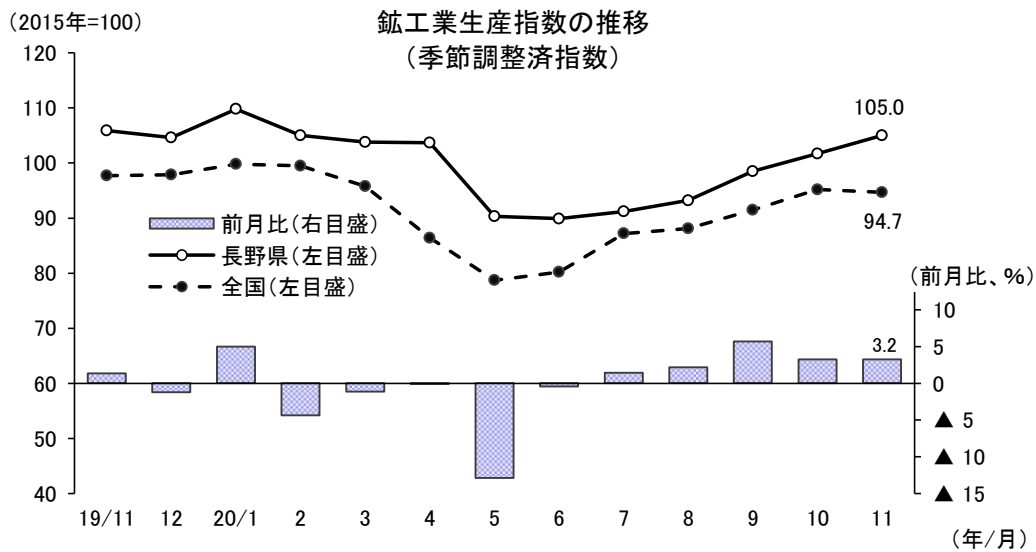
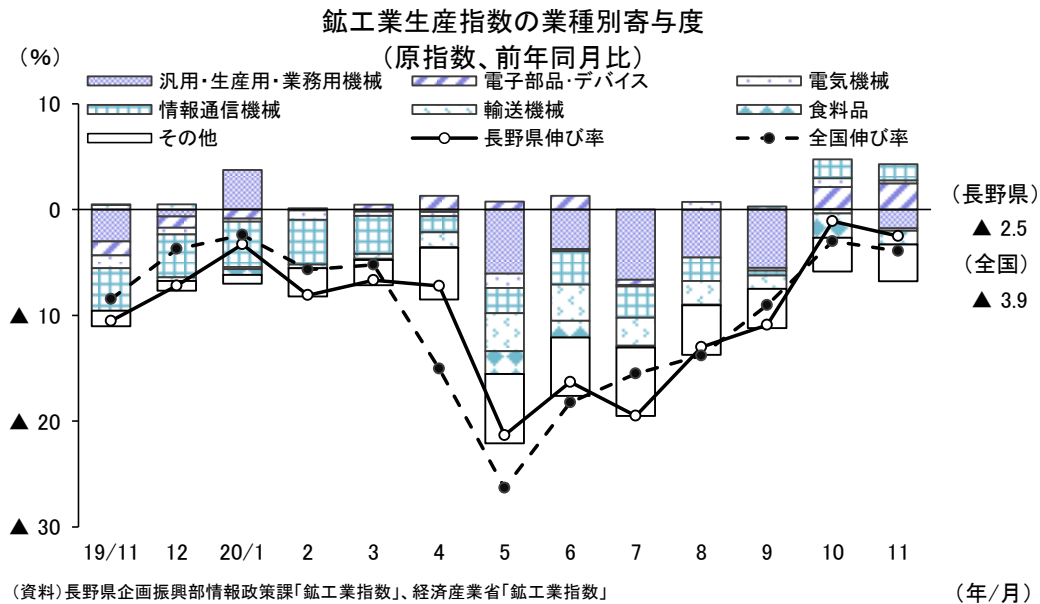
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す

注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

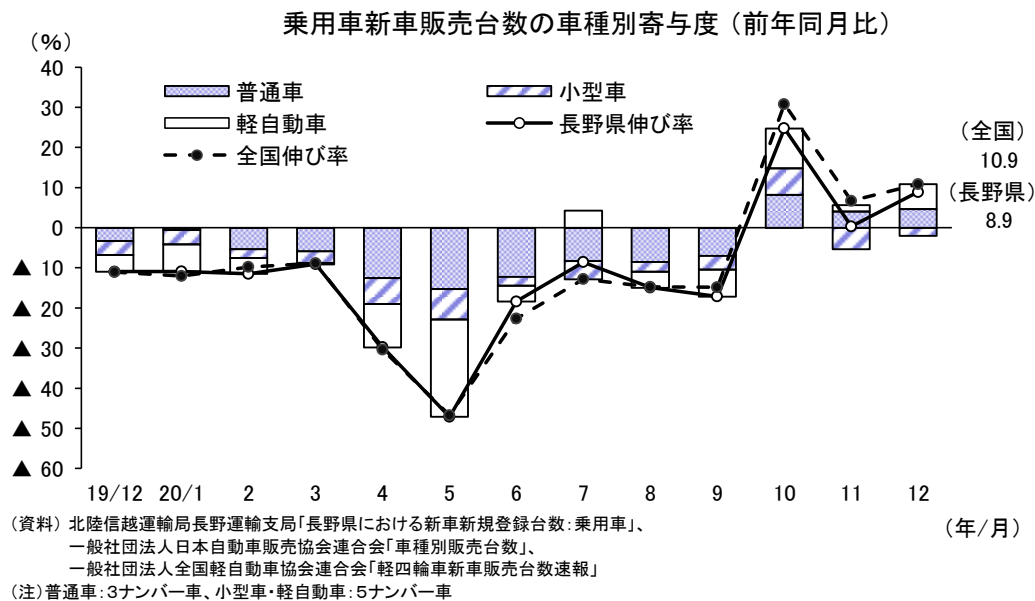
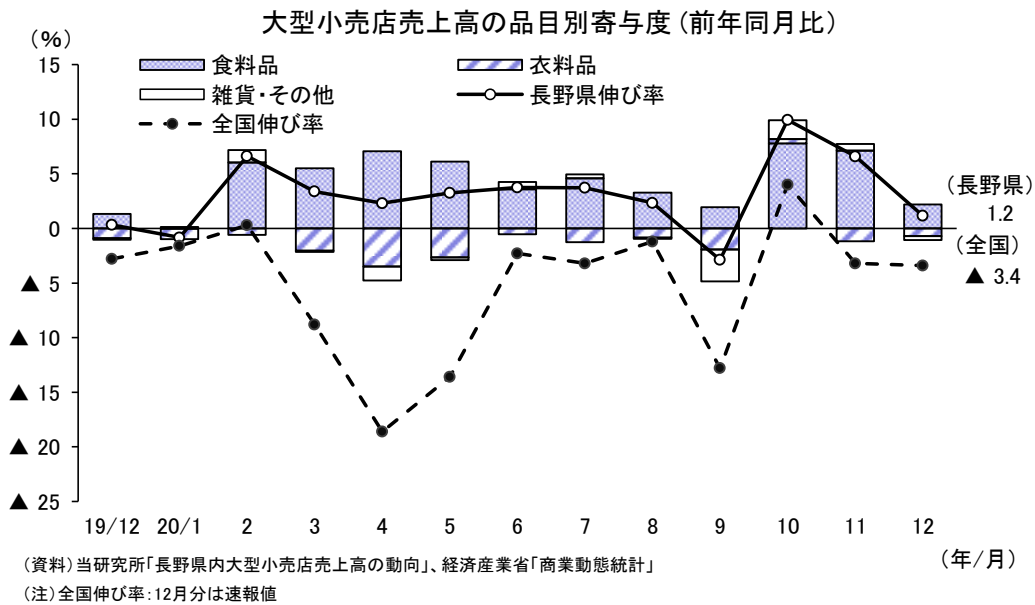
生産は持ち直している

- ・11月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△2.5%、季節調整済指数は前月比+3.2%となった。
- ・原指数は16カ月連続で前年を下回ったが、季節調整済指数は5カ月連続で前月を上回った。国内外での経済活動再開に伴う需要増加により、生産は持ち直している。
- ・主要業種別にみると、電子部品等の「電子部品・デバイス」や、民生用電子機械等の「情報通信機械」などは前年を上回ったものの、プラスチック加工機等の「汎用・生産用・業務用機械」や飲料等の「食料品」などは前年を下回った。



乗用車新車販売は3カ月連続で前年を上回る

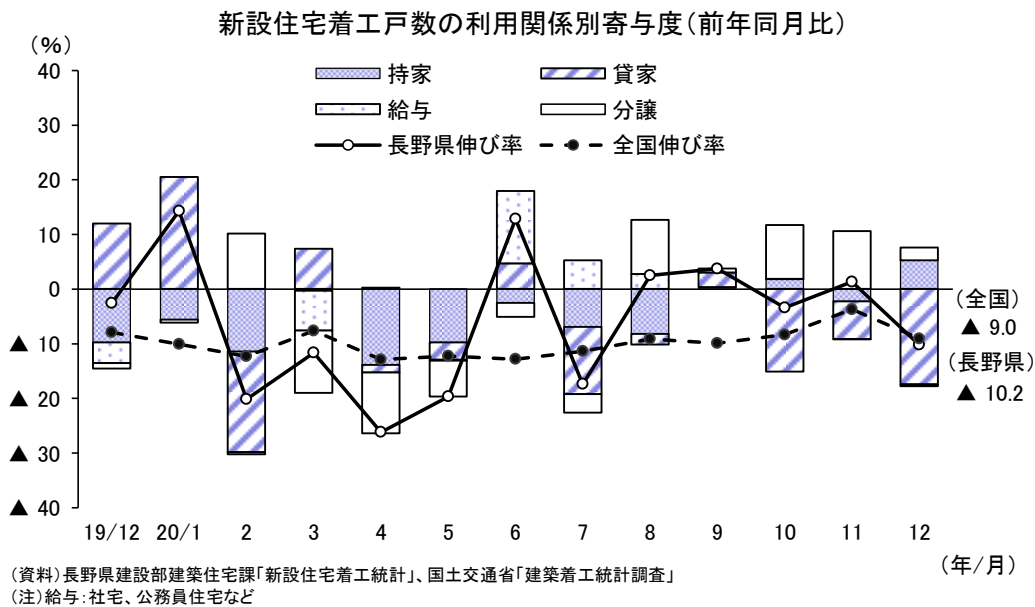
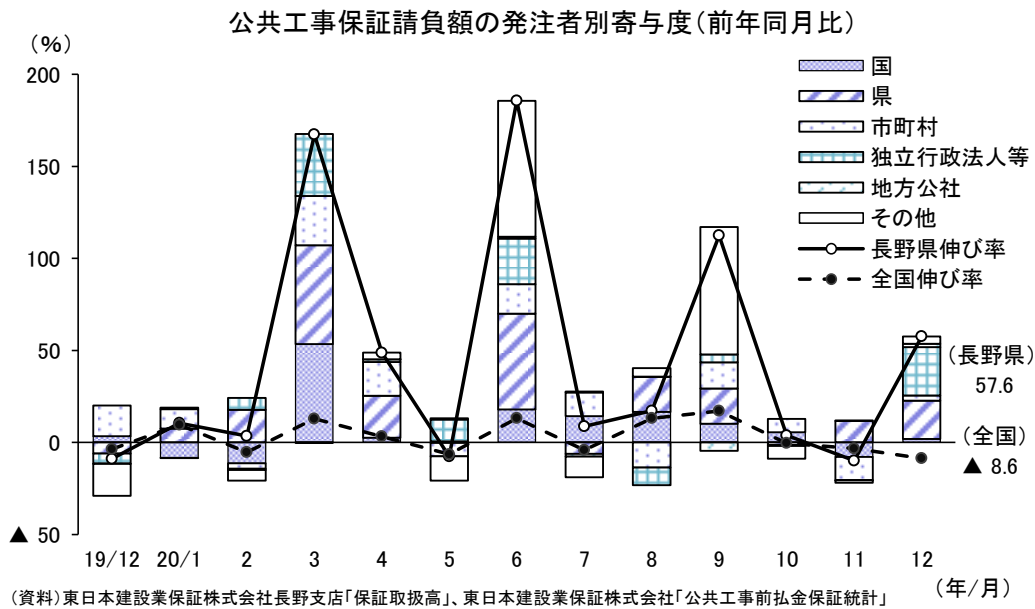
- 12月の大型小売店売上高は、前年同月比+1.2%（売場面積調整前）となり、3カ月連続で前年を上回った。食料品は、新型コロナ感染防止のための内食需要に加え、おせち商材などの売り上げが増加し、同+2.6%となった。衣料品は、外出控えなどによる来店客数の減少で、同△12.7%だった。雑貨・その他は、化粧品などが振るわず同△3.6%だった。
- 12月の乗用車新車販売は、前年同月比+8.9%と3カ月連続で前年を上回った。新型車が好調だった軽自動車（同+15.3%）や、普通車（同+14.4%）は3カ月連続で前年を上回ったが、小型車（同△7.3%）は2カ月連続で前年を下回った。



建設投資

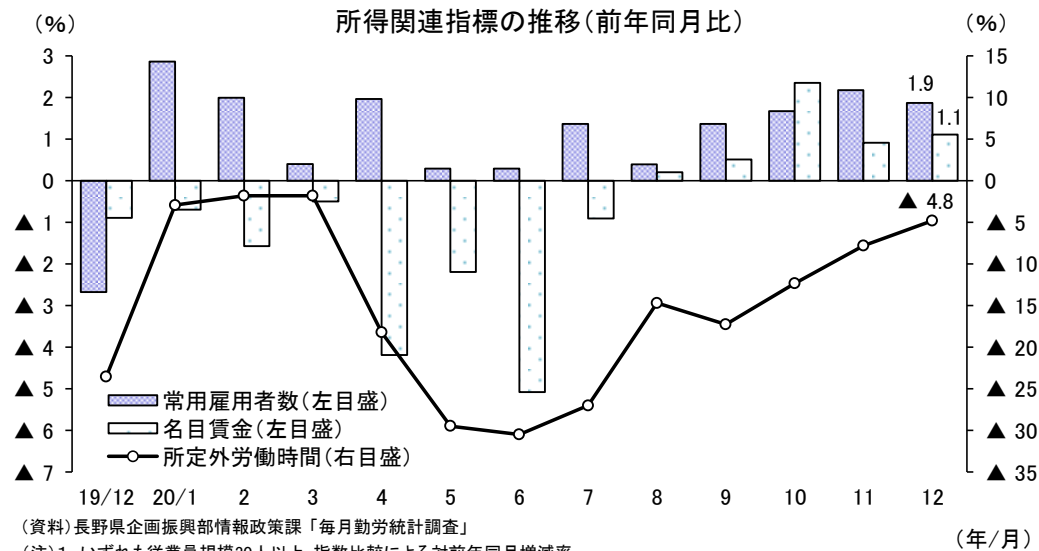
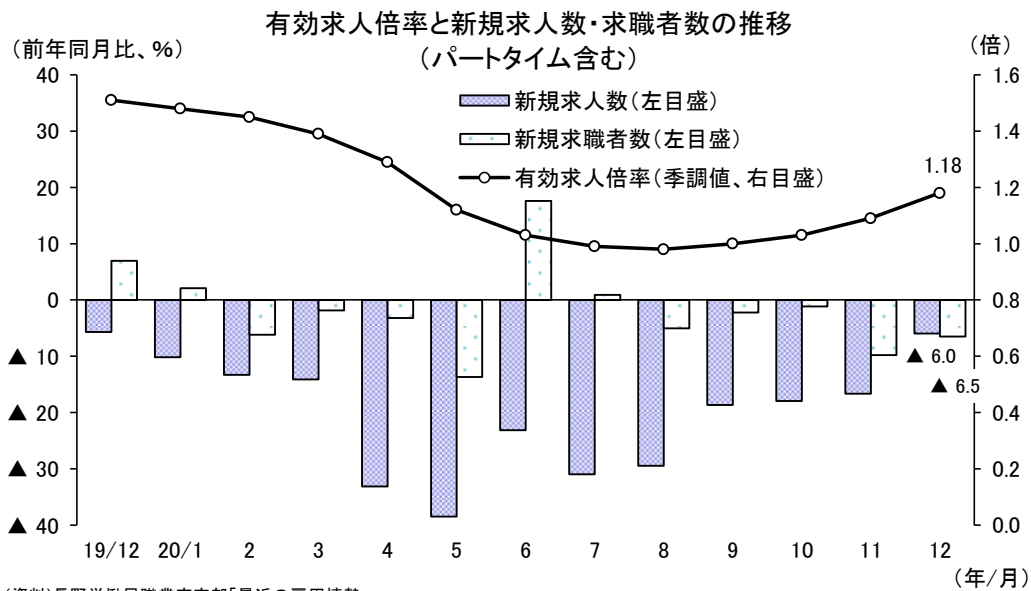
公共工事保証請負額は2カ月ぶりに前年水準を上回る

- ・12月の公共工事保証請負額は、前年同月比+57.6%の115億9,500万円となり、2カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国が同+21.5%、県が同+69.1%、市町村が同+4.9%、独立行政法人等が同+11,639.5%、その他が同+280.0%と全ての発注者において増加した。
- ・12月の新設住宅着工戸数は994戸で、前年同月比△10.2%と2カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同+10.1%、分譲が同+22.6%と増加したが、貸家が同△46.8%と減少した。



有効求人倍率は4カ月連続で前月を上回る

- ・12月の有効求人倍率は前月比+0.09ポイントの1.18倍と、4カ月連続で前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△6.0%となり、22カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△5.2%、パートは同△8.3%となった。産業別では、建設業が同+19.2%、情報通信業が同+3.7%と前年を上回ったものの、宿泊業・飲食サービス業が同△37.0%、卸売業・小売業が同△7.6%、医療・福祉が同△5.1%などと前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△6.5%と5カ月連続で前年を下回った。
- ・常用労働者数は前年同月比+1.9%と12カ月連続で前年を上回り、名目賃金も同+1.1%と5カ月連続で前年を上回った。一方、所定外労働時間は同△4.8%と24カ月連続で前年を下回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

前月比の上昇幅は全国で最も高い

- ・12月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.45ポイントの1.32倍、東信が同△0.27ポイントの1.27倍、中信が同△0.32ポイントの1.17倍、南信が同△0.30ポイントの1.14倍となった。16カ月連続で全ての地域で前年を下回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、9カ月ぶりに全ての職業安定所で1倍を上回った。
- ・長野県の有効求人倍率は2カ月連続で全国平均を上回り、全国順位は前月から9つ上げ16位となった。前月からの上昇幅+0.09ポイントは全国で最も高かった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(20年12月)

地域	北 信(1.32) (前年同月比▲0.45)				東 信(1.27) (前年同月比▲0.27)		中 信(1.17) (前年同月比▲0.32)			南 信(1.14) (前年同月比▲0.30)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.42	1.23	1.24	1.21	1.23	1.31	1.15	1.34	1.27	1.24	1.04	1.13
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.56	▲ 0.23	▲ 0.42	▲ 0.39	▲ 0.34	▲ 0.20	▲ 0.26	▲ 0.51	▲ 0.74	▲ 0.25	▲ 0.39	▲ 0.28
うち常用	1.33	1.20	1.01	1.15	1.03	1.35	1.03	1.39	0.97	1.13	0.92	1.08
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.48	▲ 0.20	▲ 0.36	▲ 0.36	▲ 0.33	▲ 0.22	▲ 0.26	▲ 0.81	▲ 0.45	▲ 0.21	▲ 0.38	▲ 0.30

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

